

(一般屋内用)

非常用照明器具 (兼用器具)
階段通路誘導灯

品番 NNFF21300J (壁直付型) [電池内蔵型]

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

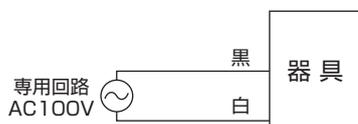
- **施工は、施工説明にしたがい確実に**行う。
施工に不備があると非常点灯せず正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- **器具を改造しない**。火災・感電・落下の原因となります。
- **表示された電源電圧 (定格電圧±6%)・周波数で使用**する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- **蓄電池を短絡、分解等しない**。火災・感電・やけど・破裂の原因となります。
- **壁面取付専用器具です。天井面に取付しない**。火災、カバー落下の原因となります。
- **施工の際に、点検スイッチが下になる方向に取付ける。壁面横取付はしない**。
落下及び正常な避難誘導ができない原因となります。
- **電気設備技術基準にしたがい、必ずD種 (第3種) 接地工事を行う**。
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。

⚠ 注意

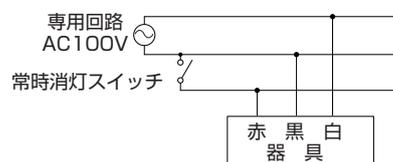
- **この器具は一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の強い場所、雨のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください**。
火災・感電・落下の原因となります。
- **外の風が直接当たる場所では使用しないでください**。落下・破損の原因となります。
- **周囲温度は、5~35℃で使用してください**。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- **この器具の電源は専用回線にしてください**。
- **階段通路誘導灯として使用される場合、常時、連続点灯してください**。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- **48時間充電後⇒非常点灯の確認をしてください**。充電しないと非常点灯しません。
- **電源通電状態で、ランプユニットを接続しないでください**。
ランプユニットが点灯不良になる原因となります。

配線種類

A. 消灯なし(2線式配線)の場合



B. 消灯あり(3線式配線)の場合



各部のなまえと取付方法

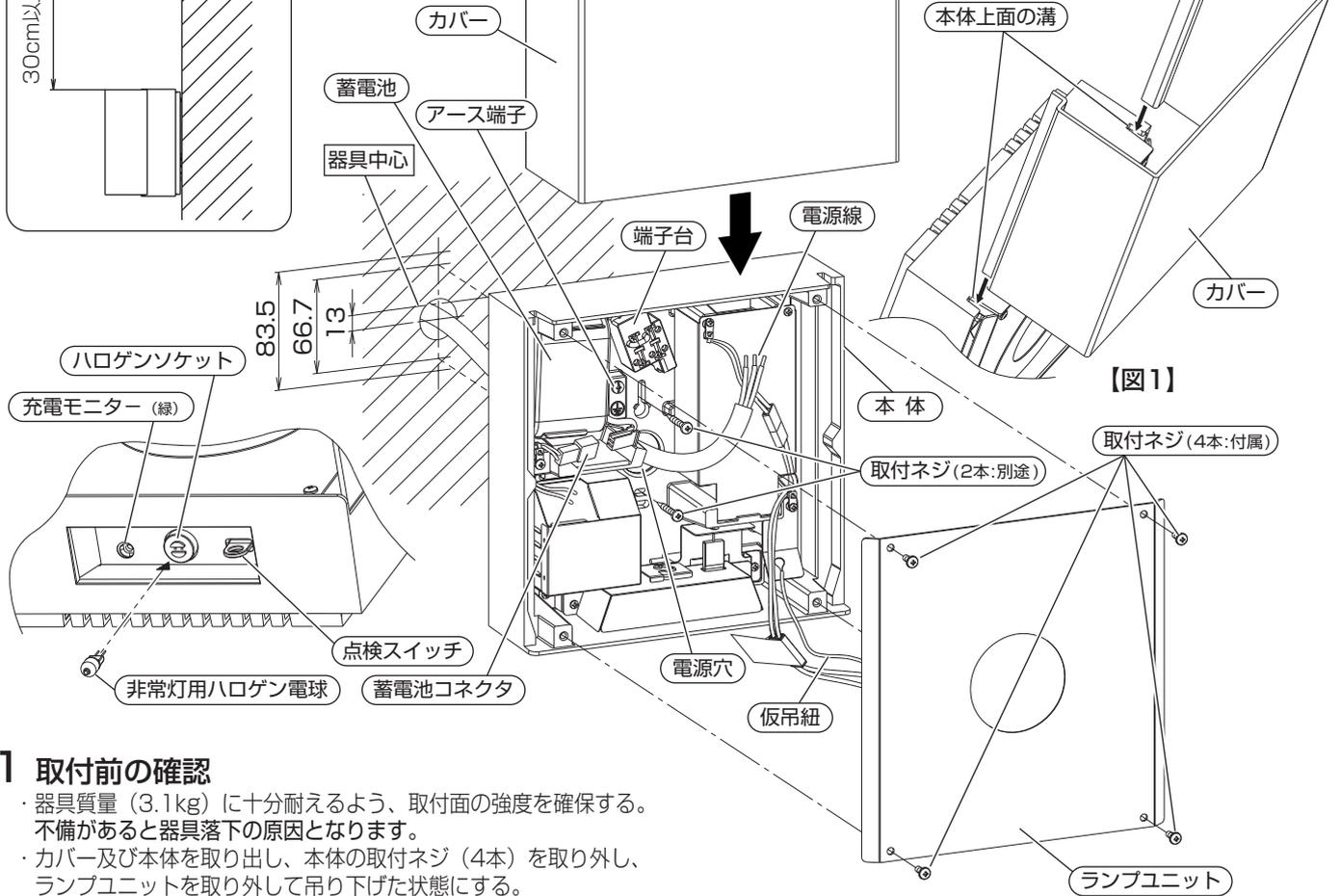
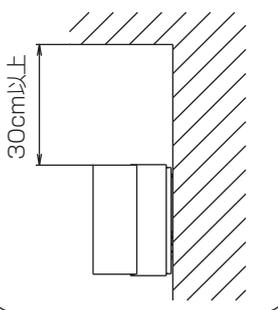


警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

【施工条件】

注) 天井面とは30cm以上離してください。
スペースがないとカバーの取外しができません。



【図1】

1 取付前の確認

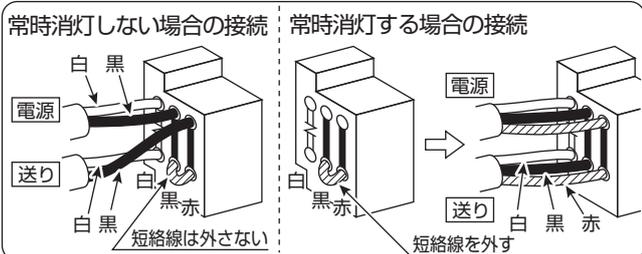
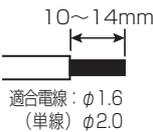
- 器具質量 (3.1kg) に十分耐えるよう、取付面の強度を確保する。
不備があると器具落下の原因となります。
- カバー及び本体を取り出し、本体の取付ネジ (4本) を取り外し、ランプユニットを取り外して吊り下げた状態にする。
注) 本体とランプユニットの接続を解除しないこと。
電源通電状態でランプユニットを接続すると、ランプユニットが点灯不良の原因となります。
※点検スイッチを固定している青色テープをはがしてください。

2 本体の取付

- 電源線・アース線を本体の電源穴から引き込む。
- 取付ネジ (2本:別途) にて本体を確実に取付ける。
取付けに不備があると器具落下の原因となります。

3 電源線・アース線の接続

- 電源線は端子台、アース線はアース端子に確実に接続する。
- この器具は、端子台での送り配線が可能です。
(端子台の送り容量は20Aです。)
- 接続が不完全な場合や接続を間違った場合や容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。
- D種 (第3種) 接地工事が必要です。
接地が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 常時消灯する場合は、短絡線を外してください。
- 常時消灯する場合は、所轄消防署の承認が必要です。



4 蓄電池コネクタの接続

- 蓄電池コネクタの方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。

5 ランプユニットの取付

- 本体にランプユニットを押し当て、取付ネジ (4本) にてランプユニットを確実に取付ける。
注) 取付ネジを取付ける際、ランプユニットは固定されていないので、片手で保持してください。
取付けに不備があると、ランプユニット落下の原因となります。

6 非常灯用ハロゲン電球の取付

- 非常灯用ハロゲン電球をハロゲンソケットに確実に取付ける。
※非常灯用ハロゲン電球は器具内に貼り付いています。
※非常灯用ハロゲン電球は素手で触らないでください。
取付けが不完全な場合、点灯不良の原因となります。

7 カバーの取付

- 本体上面の溝にカバーを嵌め込み、確実にカバーを取付ける。(図1参照)
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

8 電源の通電

- 電源を通電させる。

9 充電状態と非常点灯の確認

- 電源通電状態でランプユニット及び充電モニターが点灯するかを確認する。
 - 48時間充電後点検スイッチを引っ張り、非常点灯するかを確認する。
- 正常に動作しない場合は **故障かな?と思ったときは** (4ページ) の項をご確認してください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 非常灯光源に近接して物を置かない。照射面の過熱による火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・感電・やけど・破裂の原因となります。
- 照明器具には、寿命があります（※1）法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1：照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。非常用照明器具の場合、使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

■ランプユニットの光源寿命（※2）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

■ランプユニットの光源にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- ・電源を通電しないまま電池コネクタをつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。
- ・長時間使用しない場合は、蓄電池をはずして保管してください。
- ・点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。ランプユニット・電池などの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品……弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・部品の交換について……下記の指定された部品を使用してください。

【交換部品】	ランプユニット	非常灯用ハロゲン電球	蓄電池
	NNFF21300JL	JE3.6V13W	FK776(3.6V 3000mAh)

⚠ 注意

- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後は
ランプユニットやその
周辺をさわらないこと

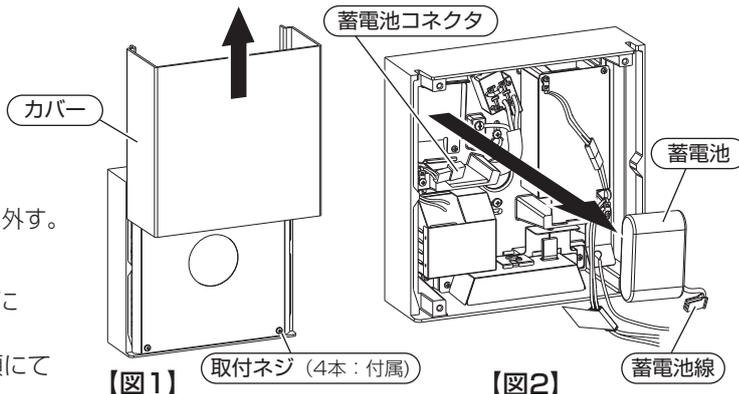
ランプユニット交換方法

ランプユニットの交換は、交換用のランプユニットに同梱の補修説明書に従い行ってください

蓄電池交換方法

- ①カバーを上側にスライドさせ取り外す。【図1】
- ②取付ネジ（4本：付属）を取り外して、ランプユニットを取り外す。
※ランプユニットの接続は解除しないでください。
- ③蓄電池コネクタを取り外し、蓄電池を交換する。【図2】
※蓄電池は蓄電池線が器具の中央且つ蓄電池の下側方向になるようにして取付けてください。

・交換後は（各部のなまえと取付方法）（2ページ）の手順にて施工してください。



◆定期点検 ・3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお薦めします。
 ・6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
 (点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな?と思ったときは

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

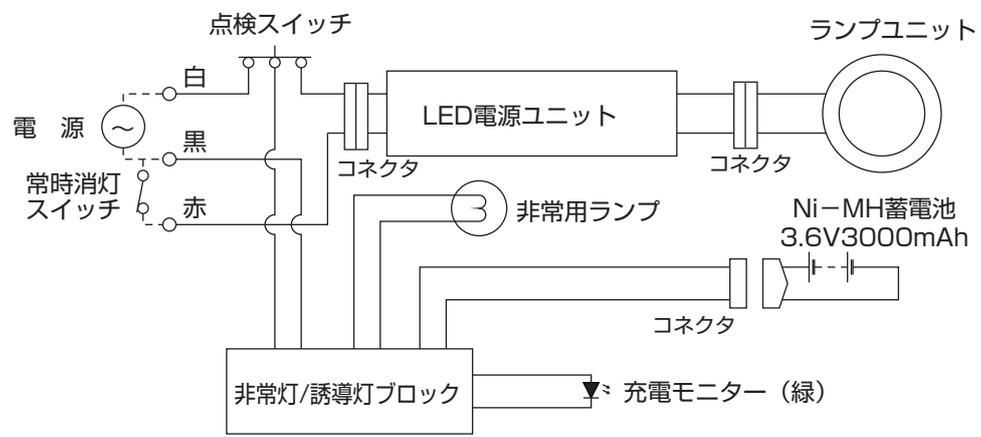
現象	考えられる原因	処置
●常時、ランプユニットが点灯しない	ランプユニットの寿命	ランプユニットを交換する
	消灯スイッチにより電源が遮断されている	電源を通電する
●非常点灯しない ●短時間しか点灯しない (30分未満)	蓄電池コネクタはずれ	蓄電池コネクタを接続する
	蓄電池の充電不足 (保管時の自然放電や、施工時の放電など)	連続48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
●充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	蓄電池コネクタを接続する
	非常灯用ハロゲン電球が切れている	非常灯用ハロゲン電球を交換する

器具定格・接続図

●定格

品番	摘要	起動方法	ランプ	定格電圧	入力電流	入力電力	非常時光束
NNFF21300J	常時	半導体式	1×NNFF21300JL	AC100V	0.195A	18.8W	—
	非常時	—	JE3.6V13W	密閉型Ni-MH蓄電池 FK776 (3.6V3000mAh)			250lm

●接続図



Ni-MH この器具は、“ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの“ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または“有限責任中間法人JBRC”に依頼してリサイクルしてください。